

北陸農政局長賞受賞

～営農活動を核としたむらづくり～

受賞者 **農事組合法人グリーンファームはなさき**

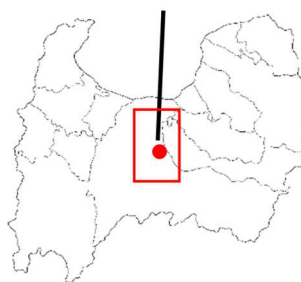
(富山県^{とやまし}富山市)

■ 地域の概要

「農事組合法人グリーンファームはなさき」が位置する富山市大山地区は、富山市の南東部にあり、面積は約 572k m²を有し、90%以上が森林で占められている。花崎集落^{はなさき}は大山地区の北西部にあり、東側の常願寺川^{じょうがんじがわ}、南側の熊野川^{くまのがわ}により形成された扇状地の砂質系土壌が主である地帯に位置している。

旧大山町の人口は、昭和 35 年頃の約 15,000 人をピークに減少傾向が続いており、現在は 10,300 人（平成 27 年国勢調査）で、核家族化が進行している。

農事組合法人グリーン
ファームはなさき



■ 主なむらづくりの内容

若者の離村、高齢化などにより、荒廃農地が増加するなど、むら機能の低下への対応が問題となるなか、平成 17 年に「明日の農業を考える会」を開催し、任意集落営農組織を経て、県単独事業の活用による農業機械の整備や複式簿記の導入など組織運営の強化を図るとともに、更なる農業経営の効率化や受託能力の強化、継続的かつ安定的な経営体制とすべく、平成 21 年に「農事組合法人グリーンファームはなさき」を設立した。

地域農業の担い手として水稻湛水直播栽培の導入、大豆の団地化など、他地区に先駆けた効率的な営農を展開している。

用排水路の江ざらいや草刈り、農道補修など景観・環境保全活動に積極的関与するとともに、法人主催の田植祭や、地元行事「神輿」など交流行事は集落全体で実施している。

営農活動を核とした活動による村づくりは、ほぼ同時期に設立された他地区法人の先導的モデルとなっている。



写真 1 水稻直播作業



写真 2 地元行事の「神輿」



写真 3 用排水路の浚渫